

【記入の方法】

1 ①の事業所記号は、新規適用時に健康保険組合において付された記号(納入告知書及び保険証に記された記号)を記入すること。

2 ③の年号は、該当する文字を○印で囲むこと。生年月日は、たとえば、昭和32年2月7日生まれの場合は、

「

昭. 5	年	月	日
平. 7	3	2	0
	2	0	7

」のように記入すること。

3 ④は、被保険者が坑内員以外の男子であるときは「1」を、女子であるときは「2」を、坑内員であるときは「3」を○印で囲むこと。ただし、厚生年金基金の加入員であって、坑内員以外の男子であるときは「5」を、女子であるときは「6」を、坑内員であるときは「7」を○印で囲むこと。

4 ④は、健康保険法第36条又は厚生年金保険法第14条の規程による資格喪失の年月日(たとえば、退職又は死亡により資格を喪失したときは、退職又は死亡した日の翌日。75歳到達により

健康保険の被保険者の資格を喪失したときは、誕生日の当日)を記入すること。資格喪失の年月日は、たとえば、平成28年12月1日の場合は、

「

平成	年	月	日
2	8	1	2
		0	1

」のように記入すること。

5 ⑤は、該当する文字を○印で囲むこと。

6 ⑥は、「健」の欄には健康保険の標準報酬月額を、「年」の欄には厚生年金保険の標準報酬月額を記入すること。

7 ⑥は、被保険者用の被保険者証をこの届書に添付する場合は「添付 1」を、回収不能の場合は「返不能 2」を、滅失した場合は「滅失 3」を○印で囲むこと。

8 ④は、該当する文字を○印で囲むこと。なお、「有」の場合は、()内に被扶養者の人数を記入し、⑦⑧欄の被扶養者用の被保険者証の回収状況についても記入すること。

9 ⑨欄は、退職による喪失者は退職日を、75歳到達による喪失者は75歳誕生日を、死亡による喪失者は死亡日を記入すること。

10 事業主の押印については、署名(自署)の場合は要しないものであること。

11 本手続は電子申請による届出も可能であること。

備考 : この用紙は、日本工業規格A列4番とすること。
: 表面の左側の余白は、つづりしろとし、その幅を25ミリメートルとすること。
: 必要があるときは、所要の変更又は調整をくわえることができる。